# IC メルマガ（国際委員会メールマガジン）

## 1．IC メルマガ発行にあたって（名城大学名誉教授　二神真美(国際委員会委員長)）

このたび、国際委員会（International Committee）では，学会の国際化を目指してメールマガジン（「IC メルマガ」と表記）を開設し、学会員の皆様へ情報提供を行うこととなりました。新体制の下で委員長・副委員長を含めた 10 名が，(1)国際研究理解活動，(2)国際発信活動，(3)海外研究者講演等サポートの 3 分野に分かれて委員会活動に取り組んでおります．本誌 IC メルマガは，上記(1)に該当するもので，ライトな情報を定期的に発信し，会員間の情報共有を促しながら，アジャイル方式でより望ましい形態に発展していきたいと考えております．今後，1～2 ヶ月ごとに発行を予定しているため，適当な話題やコンテンツがありましたら，下記問合せ先までご連絡ください．委員会が中心となってより良い紙面づくりに取り組みますので，ご協力をよろしくお願い申し上げます．

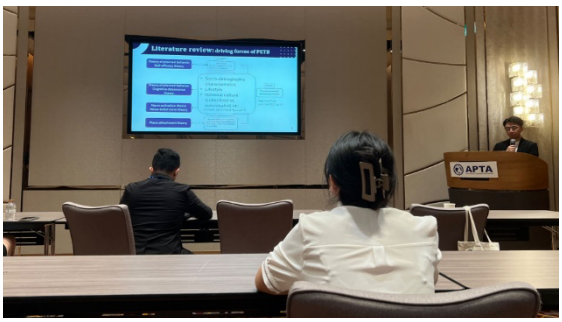
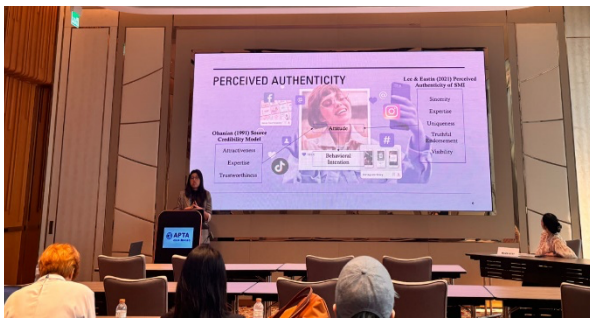
## 2．APTA 年次大会の開催報告（東洋大学国際観光学部　孫 涛）

中国・マカオにおいて，Asia Pacific Tourism Association (APTA)年次大会が，2024 年 7 月 3 日から 5 日まで開催されました(https://www.apta2024.org/)．APTA は，インパクトファクタージャーナル（Asia Pacific Journal of Tourism Research）を持つアジアで有数の学会であり，日本観光研究学会(JITR)も賛助会員として加盟しています．マカオでの年次大会には，日本を含めた 26 ヵ国，200 人以上の研究者・学生が集い，観光・ホスピタリティにかかわる多様な研究トピックが発表されました．大会での詳細なトピックは下記のとおりです．

- Consumer Behaviour
- Destination/ Lodging Management
- Restaurant & Food Service Management
- Tourism Marketing
- Cultural/Heritage Tourism
- Tourism & Hospitality Education
- Tourism Finance & Economics
- Others

本大会には 181 件の発表申し込みがあり，116 件の発表とその中から 51 の Full Paper が採択されました．2025 年には，APTA は設立 30 周年を迎え，その発祥地である釜山で年次大会が開催される予定です．気軽に行けるような学会なので，本学会の皆様が積極的に参加され，発表や交流を通じた研鑽ができると考えられます．

開会式と閉会式の様子


研究発表の様子　　(2024.7.10 入稿)

**IC メルマガ 2024, No.1 発行元:日本観光研究学会国際委員会，発行日:2024 年 7 月 20 日，連絡先:** info@jitr.jp